

非常電源（高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備）試験結果報告書													
試験実施日 年 月 日													
試験実施者 住 所 氏 名													
消防用設備等の別													
使 用 区 分		共用 ()											
		消防用設備等のみに使用											
受 電 方 式		Φ		W		V		Hz		容量		kVA	
主 遮 断 装 置		定格遮断電流				kA		定 格 電 圧				V	
		種 別						定 格 電 流				A	
高 圧 交 流 負 荷 開 閉 器								定 格 電 圧				kV	
								定 格 電 流				A	
高 圧 カ ッ ト ア ウ ト ス イ ッ チ								定 格 電 圧				kV	
								定 格 電 流				A	
変 圧 器		容 量				kVA		1 次・2 次電圧				V / V	
		種 別		油入 乾式 その他				使 用 区 分		専用 共用 ()			
コ ン デ ン サ		容 量				kVA		定 格 電 圧				V	
		種 別		油入 乾式 その他									
試 験 項 目						種 別 ・ 容 量 等 の 内 容						結果	
外 観	設置場所等	設 置 場 所											
		不燃専用室・ 機械室 等	換 気 設 備				—						
			有 効 な 防 火 区 画				—						
			防 水 措 置				—						
			出火防止・延焼拡大防止				—						
			照 明 設 備 の 有 無				—						
			標 識				—						
構 造 ・ 性 能						—							
試 験	保 有 距 離 (m)	保有距離を確保しなければならない機器等の部分		機器名		操 前 作 面 面		点 検 面		換 気 面		そ の 他 面	
		キュービクル式											
		キュービクル 式以外		閉 鎖 型									
オ ー プ ン 式													

試 験 項 目					種 別 ・ 容 量 等 の 内 容					結果
外 										

③

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 使用区分の（ ）書きは、共用している設備名を記入すること。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 ※印の試験は「キュービクル式非常電源専用受電設備の基準」（昭和50年消防庁告示第7号）（改正平成10年消防庁告示第8号）に適合している旨の表示が付されているものにおいては、当該設備に係る部分について省略することができる。

6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。